

報道関係者各位

2026年6月1日

一般社団法人日本量子コンピューティング協会

日本量子コンピューティング協会、東陽テクニカの支援対象講座を拡大

学生・教員向け検定料無償化を量子エンジニア講座

(アニーリング式・ゲート式)にも拡大

一般社団法人日本量子コンピューティング協会（本部：東京都中央区、代表理事：高野秀隆、以下 日本量子コンピューティング協会）は、株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員：高野 俊也、以下 東陽テクニカ）の支援により実施している、学生および教員を対象とした検定試験受験料の無償化について、対象を「量子ジェネラリスト講座」に加え、「量子エンジニア（アニーリング式）講座」および「量子エンジニア（ゲート式）講座」へと拡大することをお知らせいたします。

これまで「量子ジェネラリスト講座」検定のみを対象としてきた本支援プログラムについて、今回より新たにエンジニア領域を含む計 3 講座（コース別では計 5 コース）に拡大します。これにより、量子コンピューティングを事業活用するジェネラリスト人材だけでなく、実装を担うエンジニア人材についても、学生・教員の段階から専門知識を習得しやすい環境を整備し、量子人材の裾野拡大と量子技術の社会実装をさらに加速してまいります。

【今回拡大する対象講座】

講座／コース	内容
量子ジェネラリスト講座	量子コンピューティングの基礎知識を学び、ビジネスや研究に応用します。
量子エンジニア（アニーリング式）講座 エントリーコース	量子アニーリング（エンジニアリング）に関する積極的な知識を学びます。

量子エンジニア（アニーリング式）講座 アドバンスコース	より応用的な内容を扱い、実践的なスキルを学びます。
量子エンジニア（ゲート式）講座 エントリーコース	量子ゲート（エンジニアリング）に関する基礎的な知識を学びます。
量子エンジニア（ゲート式）講座 アドバンスコース	より応用的な内容を扱い、実践的なスキルを学びます。

【支援概要】

- ・ 対象：学生、教員
- ・ 対象講座（拡大後）：
 - ① 量子ジェネラリスト講座
 - ② 量子エンジニア（アニーリング式）講座（エントリーコース／アドバンスコース）
 - ③ 量子エンジニア（ゲート式）講座（エントリーコース／アドバンスコース）
- ・ 内容：上記講座の検定試験受験料（学生：5,000円、一般：9,800円）を東陽テクニカが全額負担
- ・ 開始時期：2026年6月実施分より順次拡大適用
- ・ 申請方法：下記ページよりご確認いただけます。

<https://www.jqca.org/toyo/student-discount>

【概要／背景】

量子コンピューターは、量子力学の原理を利用した次世代コンピューターとして、材料開発や創薬など幅広い分野での活用が期待されています。国内でも社会実装に向けた動きが進む一方、企業や大学において量子技術を扱える専門人材の不足が課題となっています。

JQCAは、量子コンピューティングの知識を事業活用する人材（ジェネラリスト）と、実装を担う人材（エンジニア）の育成を目的に講座・検定を運営しており、2024年9月に試験

を開始して以降、受験者数は着実に増加しています。今回の支援対象講座の拡大により、ジェネラリストからエンジニアまで、幅広い量子人材の早期育成を後押ししてまいります。

※ 量子ジェネラリスト、量子エンジニア（アニーリング式）、量子エンジニア（ゲート式）
検定試験は毎月開催。検定料は学生：5,000 円、一般：9,800 円。

<https://www.jqca.org/course.php>

<一般社団法人日本量子コンピューティング協会について>

日本量子コンピューティング協会は、量子コンピューティング技術の普及と発展を推進し、日本の産業や学术界における活用促進を目的として、2023年6月に設立されました。多数の企業・学術機関が協会員として参画しています。

一般社団法人日本量子コンピューティング協会 Web サイト：

<https://www.jqca.org/index.php>

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは、最先端の“はかる”技術のリーディングカンパニーとして、技術革新を推進しています。その事業分野は、脱炭素／エネルギー、先進モビリティ、情報通信、EMC、ソフトウェア開発、防衛、情報セキュリティ、ライフサイエンス、量子ソリューションなど多岐にわたり、クリーンエネルギーや自動運転の開発などトレンド分野への最新計測ソリューションの提供や、独自の計測技術を生かした自社製品開発にも注力しています。新規事業投資や M&A による成長戦略のもと国内外事業を拡大し、安全で環境にやさしい社会づくりと産業界の発展に貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト：<https://www.toyo.co.jp/>

東陽テクニカの量子ソリューション事業について

東陽テクニカは、これまで幅広い先端技術分野に計測ソリューションを提供してきた実績を活かし、2025年7月に量子コンピューターをグローバルに展開するフィンランドの IQM Quantum Computers(アイキューエム・クオンタム・コンピューターズ)と量子コンピュー

ターの国内販売代理店契約を締結し、量子ソリューション事業に参入しました。量子コンピューターは、材料開発、自動運転開発、防衛、創薬、環境工学などにおいて、従来のコンピューターでは難しい複雑かつ膨大な計算を実行できる次世代技術として注目されています。2026年4月には、IQM社製の「IQM Radiance(アイキューエム・ラディアンス)」の自社導入を決定し、2026年末までに納品予定です。

2026年2月には、ダイヤモンド量子センサーが発する微弱光を検出する高感度イメージングカメラの製造・販売をする英国のRaptor Photonics(ラプター・フォトニクス) Limited と販売代理店契約を締結し、量子センシング分野を拡充しています。

また、量子人材の教育に関しては、日本量子コンピューティング協会が実施する検定試験の受験費用支援のほか、2026年4月には、スイスのQZabre(キューザブレ) AG と販売代理店契約を締結し、量子教育キット「Quantum Edukit(クオントム エデュキット)」を発売しました。

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

info@jqca.org

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。